

・『なぜ隔年の検診?』

大豊町では、乳がん検診（40歳～）と子宮がん検診（20歳～）の集団検診を毎年隔年で実施しています。乳がん検診は、厚生労働省が『マンモグラフィによる検証の適正な受診間隔について、早期乳がん比率と中間期乳がん発生率から検証した結果、2年に1度とすることが適切である』と説明しています。つまり、がんが大きくなるスピード等のデータを検討した結果、2年に1度受診すれば、早期の乳がんを発見することができると言えます。ただし、ごく一部の進行が速い乳がんは隔年実施では早期発見できないこともありますが、マンモグラフィは被爆を伴う検査であり少數を発見するために、全員に不利益を生じることになるため、集団検診としては科学的根拠のない逐年受診はせず、2年に1度の隔年受診としています。

子宮がん検診についても厚生労働省が、隔年受診でも検診の有効性は保たれると判断しています。子宮頸がんは一般的に非常にゆっくりと進行し、進行がんになるには2～3年かかると言われ、検診を毎年受診した場合と2年に1回受診した場合の検診効果は変わらないとされています。このようなことから、婦人がん集団検診は隔年検診としています。

早期発見のためには必ず2年に1回受診し、自分の体の状態を確認していくことが大切です。今までに未受診の方には、個別検診も受けただけるようにしていますので、ぜひ受診をしましょう。

4年生個人	高学年男子	柔道競技の部	大会名：第31回高知県スポーツ少年団総合交流大会	日時：令和4年4月29日
北山祥基	大豊・葉山連合チーム	準優勝		
優勝				



まちのできごと
体育会柔道部 結果報告

株式会社相愛に感謝状を贈呈しました。
平成29年度から、5年間山莊梶ヶ森の指定管理者として運営され、県立自然公園の魅力の発信や持続可能な観光地を目指し、ガイドの育成や登山道の整備など、本町の観光振興に多大なるご貢献をいただきました。



県内の医療機関で受診しませんか？

【婦人がん個別検診】

対象者 子宮頸がん：20歳以上の女性町民
乳がん：40歳以上の女性町民
受診期間 7月1日から12月31日

- 受診を希望された方には、随時、受診券と受診票を発送します。事前に申し込まれている方には、6月末に発送しました。
- 自己負担はありません。

【胃内視鏡検診】

対象者 前年度に胃内視鏡検診を受診していない、年度年齢が50歳以上の方
受診期間 7月1日から12月31日

- 受診を希望された方には、随時、受診券と問診票を発送します。事前に申し込まれている方には、6月末に発送しました。
- 自己負担は3,000円です。

※事前に申し込みされたのに、受診券、受診票または問診票が届いていないという方、また、受診を希望される方は、健康づくり班までご連絡ください。

※検診に行く際の注意事項

受診を希望する医療機関に、必ず予約してからお出かけください。受診には、保険証と町が発行する受診票などが必要です。

個別検診医療機関一覧（一部抜粋）

《子宮頸がん検診》

高知検診クリニック、細木病院、高知県総合保健協会中央健診センター、クリニックグリーンハウス、国立病院機構高知病院、JA高知病院、愛宕病院、竹下病院、レディスクリニックコスモス、田村産婦人科、国見産婦人科、内田産婦人科、小林レディスクリニック、梅原産科婦人科、はまだ産婦人科、高須どい産婦人科、浅井産婦人科・内科、北村産婦人科、たにむら産婦人科、嶺北中央病院、にこにこレディースクリニック、毛山病院

《乳がん検診》

伊藤外科乳腺クリニック、高知検診クリニック、細木病院、高知県総合保健協会中央健診センター、いずみの病院、クリニックグリーンハウス、やまかわ乳腺クリニック、高知西病院、国立病院機構高知病院、JA高知病院

《胃内視鏡検診》

高知生協病院、いずみの病院、クリニックグリーンハウス、岡南病院、国立病院機構高知病院、高知大学医学部附属病院、竹下医院、嶺北中央病院、高知赤十字病院、北村病院、野市中央病院、国吉病院、川村病院、高知記念病院、島本病院、近森病院、こうちクリニック胃腸科内科、岡村病院、岩崎胃腸科内科、高知厚生病院、かもだの診療所、たかさきクリニック胃腸科・内科、前田メディカルクリニック、南国病院、福森内科クリニック、下村病院、坂本内科



令和4年度に集団検診で実施する婦人がん検診は『乳がん検診』のみです。9月28日（水）、9月29日（木）、10月1日（土）に実施予定の集団検診による乳がん検診の受診を希望された方には、9月上旬に受診票を発送させていただきます。